

## 1 研究開発学校（地域創造学） 第3年次公開授業研究会

11月29日（金）、文部科学省指定研究開発学校事業第3年次公開授業研究会が行われました。この日は、住田町内の小・中・高校の計5校が同時に公開授業研究会を行い、本校には約30名の参観者がいらっしゃいました。9時から授業説明が始まり、9時50分から10時40分まで公開授業、その後11時から12時30分まで授業研究会が行われました。公開授業では、1年生が「ガイドブック作成発表会」を、2・3年生が「すみハピ！（すみたハッピー）プロジェクト発表会」を行いました。

1年生は6グループに分かれ、個人が自作したガイドブックを見せながら、調査活動や作成時の工夫点、ガイドブックの広め方などを聞き手にわかりやすく発表し、聞き手は発表に対しての質疑応答、アドバイス・意見などを述べることを目標として行いました。

2・3年生は、11月27日（水）の地域創造学で選ばれた4グループが、すみハピ！プロジェクトで取り組んできた活動の成果発表を行い、聞き手は発表者の調査研究や実践の素晴らしい点や改善点をグループで共有し、意見や感想を述べることを学習課題として行いました。

生徒たちは、発表する態度、聞く態度ともに素晴らしく、地域創造学に積極的に取り組んでいる姿勢が参観者にも伝わったと思います。

授業研究会では、小中高の連携のあり方、他地域や世界との比較という視点の重要性、地域への貢献をふまえた発信の仕方等、たくさんの質問や意見が出され活発な討議が行われました。今回の反省点や貴重なご意見をもとに、地域創造学に対する取り組みをさらに実りあるものにしていきたいと思ひます。



《2・3年生のすみハピ！プロジェクト発表及び質疑応答の様子》



《1年生によるガイドブック作成発表会の様子》



《研究協議会の様子》



《助言者の佐々木淳指導主事》

## 2 気仙地方林業職場体験会

12月3日（火）、1年生を対象に気仙地方林業職場体験会が行われました。林業関係事業で働く方の姿を見たり実際に作業を体験したりすることで、職業としての林業・木材産業の具体的なイメージを持つことを目的として、けせんプレカット事業協同組合高田工場・すみた荘・気仙地方森林組合の作業現場、事務所を訪問・体験させていただきました。気仙地方林業振興協議会の皆様を始め、各事業所の皆様には多大なるご協力をいただき、ありがとうございました。



## 3 桜ライン311植樹活動

12月4日（水）、1年生が「桜ライン311 植樹関連作業ボランティア」を行いました。これは、復興教育・防災教育に関わるボランティア活動として実施しているもので、今年で7回目となります。ベニシダレザクラ、ヤエザクラ、オオヤマザクラ、シキザクラの計6本を陸前高田市広田町字平畑周辺に植樹しました。午前中は広田地区コミュニティセンターで認定NPO法人・桜ライン311代表の岡本翔馬さんから講演をいただきました。午後に植樹地へ移動し全員で黙祷した後、植樹作業を開始しました。東日本大震災津波での被災体験を後世に伝えていきたいという思いを強くした活動となりました。



## 4 ボランティア講座修了証交付式

12月4日（水）16時から本校校長室で、住田町教育委員会主催ボランティア講座修了証交付式が行われました。今年度は3年生10人が住田町教育委員会の菊池宏教育長様から修了証の交付を受けました。修了証を交付されるのは、3年間で「森の保育園ボランティア」や「種山学習ボランティア」に3回以上参加した生徒です。交付式の後、修了証をいただいた3年生は、ボランティア活動を通して自身が成長できたことや今後もボランティア活動に取り組んでいく決意について述べていました。

### 修了証授与者

石川結梨さん	荻野千尋さん	欠畑禄人さん	菅野夢貴さん	佐々木思和さん
佐々木知哉さん	戸沢好花さん	新沼優斗さん	藤井朱羅さん	迎 友華さん



（文責：副校長 菅野 幸貴）